

研修テーマ	古木の診断 -天然記念物を使った古木診断調査の実態-	参加者	埼玉支部 11名、 他支部 一名
講師	原口 志津夫 (埼玉県支部会員) 深澤 尚樹 (埼玉県支部会員)	場所	埼玉県羽生市 上新郷別所地内
資料	治療・管理履歴及び診断カルテ	記録	深澤 尚樹
目的	松の古木に生じる損傷や内包する問題及び治療の経過についての実証見聞		

研修内容

対象木の来歴や現状を現物と資料を見ながら説明。また、ツリーガンマによる内部腐朽診断を行った。

I. 治療後の経過観察

- ・ 幹巻きの一部を取り除き、樹幹注入剤による枯下がり状況や木槌打診による異常音を確認。
- ・ 70cm 以上盛土された根元周囲の土壌断面の観察。
- ・ 土壌改良や空气管・踏圧防止シートなどの処置の効果を根系分布などから生育状況を検証。



II. ツリーガンマによる計測

過去の計測データ(補足資料)を用いた見分の実施。



ツリーガンマによる測定